

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

平成31年02月19日

計画の名称	心安らぐまちを目指して												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	境町												
計画の目標	<p>地域コミュニティの連携強化を図るとともに、住民が安心して生活できる環境を確保するためのまちづくりを推進する。</p> <p>また、境町では平成27年9月の関東・東北豪雨災害時には34箇所が冠水し、道路が通行止めとなった。町が公表する危険箇所は中心市街地に多く集中しており、市街地を守る冠水への対策は喫緊の課題となっている。</p> <p>安全で住みよい地域社会の実現を目指し、防災・防犯など地域の安全対策と、住みやすい環境づくりを進め、みんなが心安らぐ安全なまちづくりを目指す。</p> <p>さらに、避難所に指定されている都市公園に屋内テニスコートを整備することにより、2020年東京オリンピックパラリンピックにおける事前キャンプ地として施設の充実を図るとともに、災害時には当該テニスコートを救援物資の集積場所として活用することにより、避難所としての機能向上及び運営効率化を目指す。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,960	A	2,327	B	400	C	233	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	7.87	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値	最終目標値 (H35末)
1	公園(多目的施設)の整備により、人々の交流及び地域活動の振興を促進する。 新たな公園内多目的施設利用件数	0件/年	件/年	300件/年
2	道路環境の改善を図ることで、魅力ある中心市街地となるよう環境整備を進める。 大雨時の道路冠水等の平均被害箇所数	6箇所/年	箇所/年	2箇所/年
3	救援物資の集積所を確保することにより、既存の屋内避難スペースを確保し、当該公園の屋内避難可能人数を増加させる。 整備する屋内施設の避難可能人数	2000人	人	2800人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	-----------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	境町	直接	境町	-	-	境古河IC周辺地区都市再生整備計画事業	道路、公園、水路 25ha	境町						1,019		-
	A10-002	都市再生	一般	境町	直接	境町	-	-	境市街地地区都市再生整備計画事業	道路(橋梁含む)、河川 287ha	境町						778		-
											小計						1,797		
都市公園・緑地等事業	A12-003	公園	一般	境町	直接	境町	-	-	都市公園事業(境町総合運動公園)	テニスコート整備(A=3,200㎡)	境町						530	7.47	未策定
											小計						530		
											合計						2,327		

B 関連社会資本整備事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	B10-001	都市再生	一般	境町	直接	境町	-	-	準用河川染谷川改修事業	河川 L = 930.0	境町						400	-		
		降雨時の下流にある市街地における冠水を未然に防ぎ、地域の安全性を高める。																		
											小計						400			
											合計						400			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市再生整備計画事業	C10-001	都市再生	一般	境町	直接	境町	-	-	境古河IC周辺地区調整池 整備事業	調整池（V = 23,300立米）	境町						233		-
調整池を整備することにより、降雨時において排水先となる染谷川への急激な雨水の流入を抑制し、地区内及び染谷川流域への冠水被害を未然に防ぎ、地域の安全性を高める効果が期待できる。																			
											小計						233		
											合計						233		

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H31	R2			
配分額(a)	449.1	208.9			
計画別流用増△減額(b)	0	0			
交付額(c=a+b)	449.1	0			
前年度からの繰越額(d)	0	263.8			
支払済額(e)	185.3	0			
翌年度繰越額(f)	263.8	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額(h=c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不要率(i=(g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不要率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 心安らぐまちを目指して

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○

